

令和8年5月29日14時00分
近畿地方整備局
木津川上流河川事務所

伊賀線第一陸閘の夜間操作訓練を行います

～上野遊水地の機能を十分に発揮するために出水期を前に操作員の習熟を図る～

伊賀線第一陸閘は、新居(にい)遊水地(4つある上野遊水地の一つ)の周囲堤と伊賀鉄道が交差する箇所に設置した遊水地内に流入した洪水流を遊水地の外に氾濫することを防ぐ施設です。

令和3年度末に完成し、令和4年度より運用を開始しています。令和8年度の操作訓練は、昨年度に引き続き、伊賀鉄道の運行が終了した夜間に実施します。

- 日 時：令和8年6月6日(土) 23時15分～2時20分
- 場 所：伊賀線第一陸閘(伊賀鉄道新居駅付近)
- 実施機関：木津川上流河川事務所・伊賀市・伊賀鉄道株式会社
- 留意事項：
 - ・取材を希望される場合、別添の申込書を6月5日17時までに下記FAX番号まで送付ください。
 - ・取材をされる際は、6月6日23時15分訓練開始までにお集まり下さい。
 - ・取材時は訓練の支障とならないように現場担当者の指示に従って下さい。
 - ・照明設備はありますが、鉄道敷地内に立ち入る際は、足下等が暗い場所もありますので、安全管理にご留意下さい。

<取扱い> _____

<配布場所> 伊賀記者会、名張市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省近畿地方整備局

木津川上流河川事務所

副所長

はやし

林

たかひろ

貴宏

建設専門官

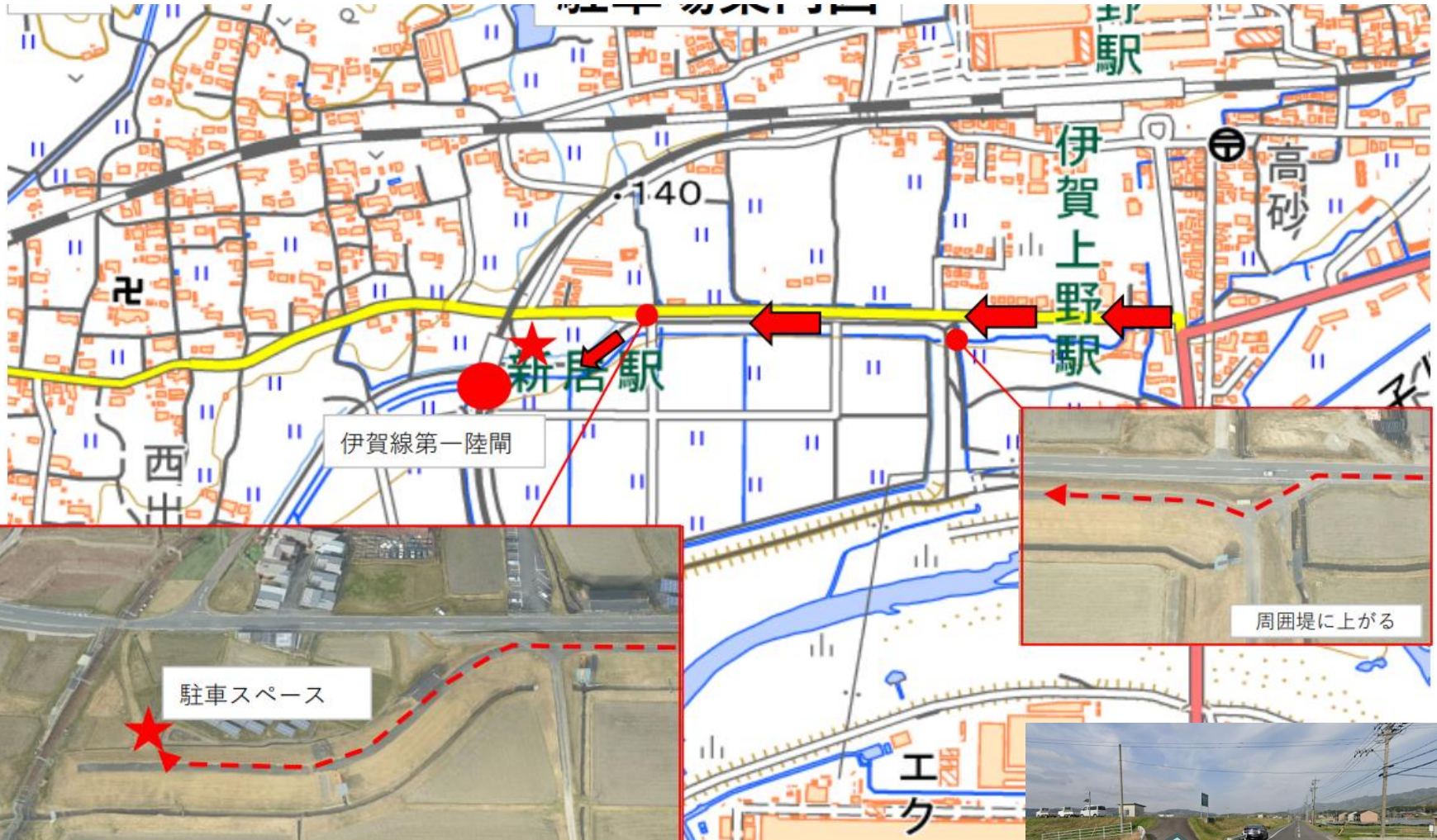
いのうえ

井上

たかし

卓

電話 0595-63-1611(代表) FAX 0595-64-9070



参考資料：伊賀線第1陸閘とは

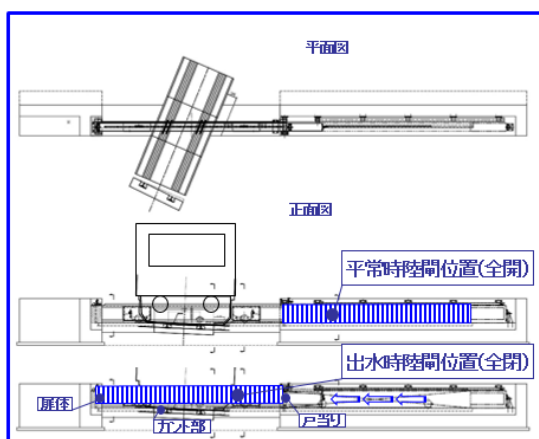
岩倉峡下流の木津川や淀川のピーク流量を増加させず伊賀市市街地における洪水の氾濫を防止するために国土交通省で上野遊水地を整備しています。

伊賀線第1陸閘は、新居（にい）遊水地（4つある上野遊水地の一つ）の周囲堤と伊賀鉄道が交差する箇所を設置した遊水地内に流入した洪水流を遊水地の外に氾濫することを防ぐ施設です。

令和3年度末に完成し、令和4年度より運用を開始しています。



図－1 陸閘位置図



図－2 陸閘構造図

設備諸元	
型式	横引きゲート
純径間(幅)	6.5m
有功高(高さ)	0.616m
水密方式	後面3方ゴム水密
操作方式	手動
設備重量	扉体(640kg)戸当り(850kg)カント部(160kg)
完成年月	令和4年3月

表－1 陸閘設備諸元表



写真－1 陸閘を閉鎖した状態

上野遊水地の概要

上野遊水地は、4遊水地（新居、小田、長田、木興）に区分され、合計約250haの面積に容量約900万m³の湛水能力を確保しています。



事業概要	事業費	717億円	越流堤	4箇所
	本川堤延長	7.68km (4遊水地合計)	排水門	4箇所
		長田: 2.05km 木興: 1.40km 新居: 2.01km 小田: 2.22km	樋門	18箇所
	周田堤延長	10.62km (4遊水地合計)	排水機場	1箇所
		長田: 2.81km 木興: 2.50km 新居: 2.88km 小田: 2.43km	陸閘	3箇所
		付替河川	3河川	
			東高倉川	
			往古川	
			久米川	

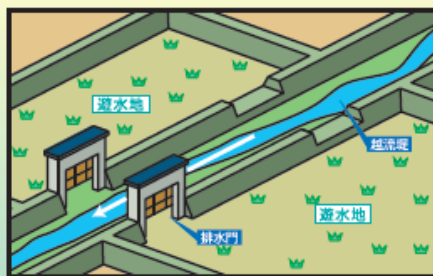
上野遊水地の概要

■遊水地諸元

河川名	遊水地名	遊水地面積 (ha)	湛水容量 (万m ³)	越流堤高 (TP,m)	越流堤長 (m)
木津川	長田遊水地	55.1	172	134.4	80
	木興遊水地	70.0	242	134.4	110
服部川	新居遊水地	61.2	206	134.4	100
	小田遊水地	62.2	280	134.4	130
計		248.5	900	-	420

通常期

いつもは、特に変化なく、川に水が流れています。



大雨によって水かさが増えてくると

洪水初期

排水門を閉め、越流堤から洪水を遊水地に導きます。



溢れそうなる川の水が遊水地におさまることで、川はスムーズに流れます。

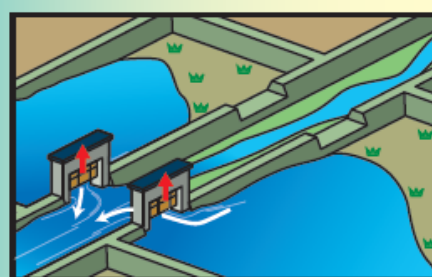
遊水地のしくみ

■遊水地のしくみ

各遊水地には、それぞれ一箇所づつ越流堤を設け洪水により河川流量以上になった場合には自然越流方式で遊水地に流入させます。また、遊水地内の湛水は、洪水が終わった後の河川水位の低下に応じて各遊水地に設けた排水門より排水させます。

洪水終期

遊水地に貯まった水は、排水門から川へともどります。



再び川の水は通常通りの流れを取り戻します。

上野遊水地の事業効果

平成29年10月の台風21号で上野遊水地が平成27年6月の運用開始後、初めての効果を発揮。

